

2021年3月11日

絶対に風化させることなく、本格的な復興へ

東日本大震災から10年を迎えて

立憲民主党代表 枝野幸男

東日本大震災・東京電力原発事故から10年の節目を迎えました。

改めて、犠牲となられた皆様に心より哀悼の意を表します。また、未だに避難生活を送られている4万人を超える方々をはじめ、被災されたすべての皆様にお見舞いを申し上げます。この間、多くの皆様が、困難を抱え乗り越えながら、一步ずつ前に進んでこられました。そのご努力に心より敬意を表します。

この10年間で、住宅や道路などハード面での復旧は一定程度進みました。

しかし、被災者の皆様が元の暮らしを取り戻せたわけではありません。心のケア、生業(なりわい)や働く場の復活、コミュニティの再生はいまだ途上であり、一部の地域ではまだスタート地点に立ったばかりです。土地をかさ上げし道路は良くなったけれど、働く場が無い、病院が無い、地域の知人・友人が戻らないなどの理由で、住みたくても住めないという方々が数多くいます。

あの日から10年を迎え、改めて、真の復旧・復興はこれからだという思いを強くしています。

10年前、私は内閣官房長官として大震災と原発事故の全体状況や対応策を集約し、国民の皆さんに発信する役割を担いました。未曾有の災害・事故の前で至らない点が多々あったのではないかと、今でも忸怩たる思いです。だからこそ、この震災と原発事故を風化させることなく、これから本格化していく復旧・復興を最大限前に進める責任を負っていることを、忘れてはならないと強く感じています。

あの震災と原発事故による途方もない犠牲と、その後多くの方々が直面した困難の中で得られた教訓を、未来に活かしていくことも大切な責任です。地震や豪雨などが頻発し、さらに大きな災害が我が国を襲う可能性も否定できません。そのときに、東日本大震災の経験と教訓を生かすことで、被害を最小限に抑え、人々の暮らしや地域、事業などを守ることができる状況を作るため、全力を挙げていく決意です。

次の10年へ。真の復旧・復興へ。私も全力をあげてまいります。

被災者の皆さん、被災地の皆さん、これからも前を向いて、ともに東北の復活・ふるさとの復活に向けて歩いてまいりましょう。

私たちは風化を許すことなく、常に皆さんに寄り添い、皆さんの立場に立って、真の復興・復旧を進めてまいります。

以上